

SUPER PONY ACTION 2020

障害予防と無限の可能性の探求と育成

Super Pony Action Philosophy

成長期で体の変化が最も大きく、成長速度が千差万別な中学生の年代に於いてはスポーツ障害予防を第一に考える必要がある。

我々中学生年代のスポーツを対象とした団体、及び指導者は、

第一に 子供の健康を考えること

第二に 将来のための育成時期であること

を念頭に置くべきである。

障害は予防できるものであり、障害の発生は取り組み方法次第でなくすことが出来る。

Protect Our Nation's Youth

(国の宝である青少年の成長を守る)

PITCH ACTION

投手の障害予防のみならず、無限の可能性を秘めた選手の中から、多くの投手を育成し投手としての才能を引き出す術と考え、球数制限というマイナス思想ではなく、

積極的に投手の障害予防を図りつつ、多くの選手の中から投手としての才能を見出す取り組みを「PONY SUPER PITCH」としてポジティブに取り組んで行く。

【PONY SUPER PITCH】

- ・ 限られた球数の中で1人でも多くの打者をアウトにする投手が PONYスーパーピッチャー
- ・ 仲間を信じてマウンドを譲れる心を持つ選手が PONYスーパーピッチャー
- ・ 無限の可能性を秘めたポニーリーガーに、先発・中継ぎ・抑えなどの役割を経験させ投手としての才能を積極的に見出す指導者が PONYスーパーリーダー
- ・ 全員が一丸となって戦うチーム・選手が スーパーPONYリーガー

PONY Super Pitch Program

Tournament PITCH Limit(投球限度)

中学1年生	1試合の投球数	60球	変化球禁止
中学2年生	1試合の投球数	75球	
中学3年生	1試合の投球数	85球	

*同日の連投及び投手捕手兼任は禁止。

*1日50球以上投球を行った場合、投手休養日1日を設定

*3連投は禁止する。

*同一試合の再登板を1回だけ認める

*上記ルールとPONY投球イニング制限・中学生投手の投球制限に関する統一ガイドラインを併用する

Protect Our Nation's Youth

(国の宝である青少年の成長を守る)



指導者が選手の体を守る

PONY Super Pitch Program

PITCH Scale (投球目安)

・練習過多も障害を引き起こす要素となることから

中学1年生	1試合の投球数	60球	週間投球数	180球	変化球禁止
中学2年生	1試合の投球数	70球	週間投球数	210球	体の負荷となる変化球禁止
中学3年生	1試合の投球数	80球	週間投球数	240球	

*投球数の定義：バッター相手のマウンドからの投球(試合前投球練習は週間投球数に含む)
8割強度以上のスローイング

*12月1月は極力投球を控える。特に肩・肘に既往歴のある選手は投球数に入る投球禁止

*同日の連投及び投手捕手兼任は禁止。

*1日の投球数が50球を超えた場合、翌日は投球数に入る投球禁止

*3連投は禁止する。

Protect Our Nation's Youth

(国の宝である青少年の成長を守る)



指導者が選手の体を守る

PONY Super Promotion PROGRAM

国際標準バット(USAバット)の導入

投手負担軽減策、及び投手ライナーや強襲ヒットなどの危険から回避すること
さらには、投手の原点教育(直球のキレと制球力)・打撃の原点教育(芯でボールを捉える)
の観点から、各連盟で開催される1年生大会、及び全日本選手権大会・ポニーブロンコ大会は
USAバットの使用を義務付ける。

なお、導入に際して、各リーグへ国際標準バット2本を協会より寄贈する。

Coaching Standard Limit

怒声罵声のある
指導・応援 …… イエローカード制を導入(審判・球場責任者に発行権付与)
(人が不快と感じる音量・言動に対して発行する。)

喫煙場所の確立 …… 喫煙場所を守らない関係者に対して、役員・球場責任者の裁量で
注意喚起、及び大会本部への報告
選手の視界に入らず、喫煙者以外が受動喫煙しない喫煙場所の設定

Protect Our Nation's Youth

(国の宝である青少年の成長を守る)

PONY Super Promotion PROGRAM

その他のルール改訂

- 広澤克実杯 全日本地域対抗選手権大会に於いては、送りバントを禁止する。
- 申告敬遠の導入
投球数制限を拡張したこと、さらにはジャイアンツカップに於いても導入されていることから「申告敬遠制度」を導入する。

Protect Our Nation's Youth

(国の宝である青少年の成長を守る)

PONY Super Promotion PROGRAM

Easy Scoreの導入と公式記録部の新設

PONY Super Pitch Programをより円滑に運用するために、Easy Scoreを導入する。これにより、球数表示を迅速かつ明確にするとともに、父兄・関係者がより関心を持ってポニーリーガーを見つめ続けられることとなる。

Easy Scoreの導入とともに、協会本部、及び各連盟組織内に公式記録部を新設し公平かつ正確なデータ入力と保管の責任部署として機能させる。

上記により、現代の野球界に求められている父兄の負担軽減策(スコアラーク減員)の一助となるとともに、各大会での個人賞(首位打者・最優秀防御率等)の根拠ある設定が可能となる。

Protect Our Nation's Youth

(国の宝である青少年の成長を守る)



選手への関心の向上が成長を加速させる